

平成 25 年度関東東海北陸農業試験研究推進会議経営部会及び春季研究会開催要領

関東東海北陸農業試験研究推進会議  
経営部会 部会長 仁平 恒夫

1. 趣旨

関東東海北陸地域における農業経営研究の平成 24 年度の研究実績と、25 年度の研究の推進方向について検討・討議を行う。また、推進部会に併せて春季研究会を開催する。研究会では、「農商工の連携関係に関する研究アプローチ」を共通テーマに議論を行う。

農商工連携促進法や 6 次化法、6 次化ファンド法などが制定され、農政の重点課題に 6 次産業化、農商工連携が位置づけられている。そこでは、新たな連携事業体を確立し、農業、農村において新たな付加価値を生み出すための各種支援方策が打ち出されている。農業経営研究においても、生産現場及び政策を支援するため、6 次産業化や農商工連携を対象にした研究が行われているが、まだ緒についたばかりであり、研究方法が確立されていない。そこで、連携関係に視点をおいたいくつかの先行研究を概観するとともに、昨年の秋季研究会の事例をもとに今後の研究方法について意見交換を行う。

2. 開催日時 平成 25 年 6 月 20 日（木）13 時～6 月 21 日（金）16 時

3. 開催場所 中央農業総合研究センター大会議室（6 月 20 日）  
農林水産技術会議事務局筑波事務所 共同利用施設（6 月 21 日）

4. 議 事

1) シンポジウム 6 月 20 日（木）13 時～17 時 15 分

テーマ 「農商工の連携関係に関する研究アプローチ」  
座長 河野 恵伸（中央農業総合研究センター）  
栗原 大二（千葉県農林総合研究センター）

第 1 報告 「ナレッジマネジメントに着目して」

堀田 和彦（東京農業大学）

第 2 報告 「ネットワークに着目して」

森嶋 輝也（中央農業総合研究センター）

第 3 報告 「コンソーシアムに着目して」

後藤 一寿（九州沖縄農業研究センター）

第 4 報告 「連携によるナレッジの創出 ー京丸園ー」

「ネットワークのハブとしての機能 ー浜松信金ー」

済木 千恵子（静岡県農林技術研究所）

コメント 高橋 伸幸（群馬県農業技術センター）

糀谷 齊（三重県農業研究所）

総合討論

2) 個別報告会 6 月 21 日（金）9 時～12 時

3) 関東東海北陸農業試験研究推進会議経営部会 6 月 21 日（金）13 時～16 時

- 議事 1) 平成 24 年度の研究成果について  
2) 平成 25 年度の研究の推進方向について  
3) 平成 25 年度秋季研究会及び推進部会の開催について  
4) その他

5. 参集範囲

関東東海北陸地域公立試験研究機関・行政機関・普及機関、農林水産技術会議事務局、関東農政局、東海農政局、北陸農政局、関東東山東海農業経営研究会関係者、農林水産政策研究所、農研機構内研究所、中央農業総合研究センター、その他部会長が必要と認めた者

6. 連絡先

中央農業総合研究センター農業経営研究領域（担当：千田雅之）  
茨城県つくば市観音台 3-1-1 TEL & FAX：029-838-8414（千田）

7. その他

参加申し込み等については、中央農業総合研究センター経営部会事務局より別途連絡する。